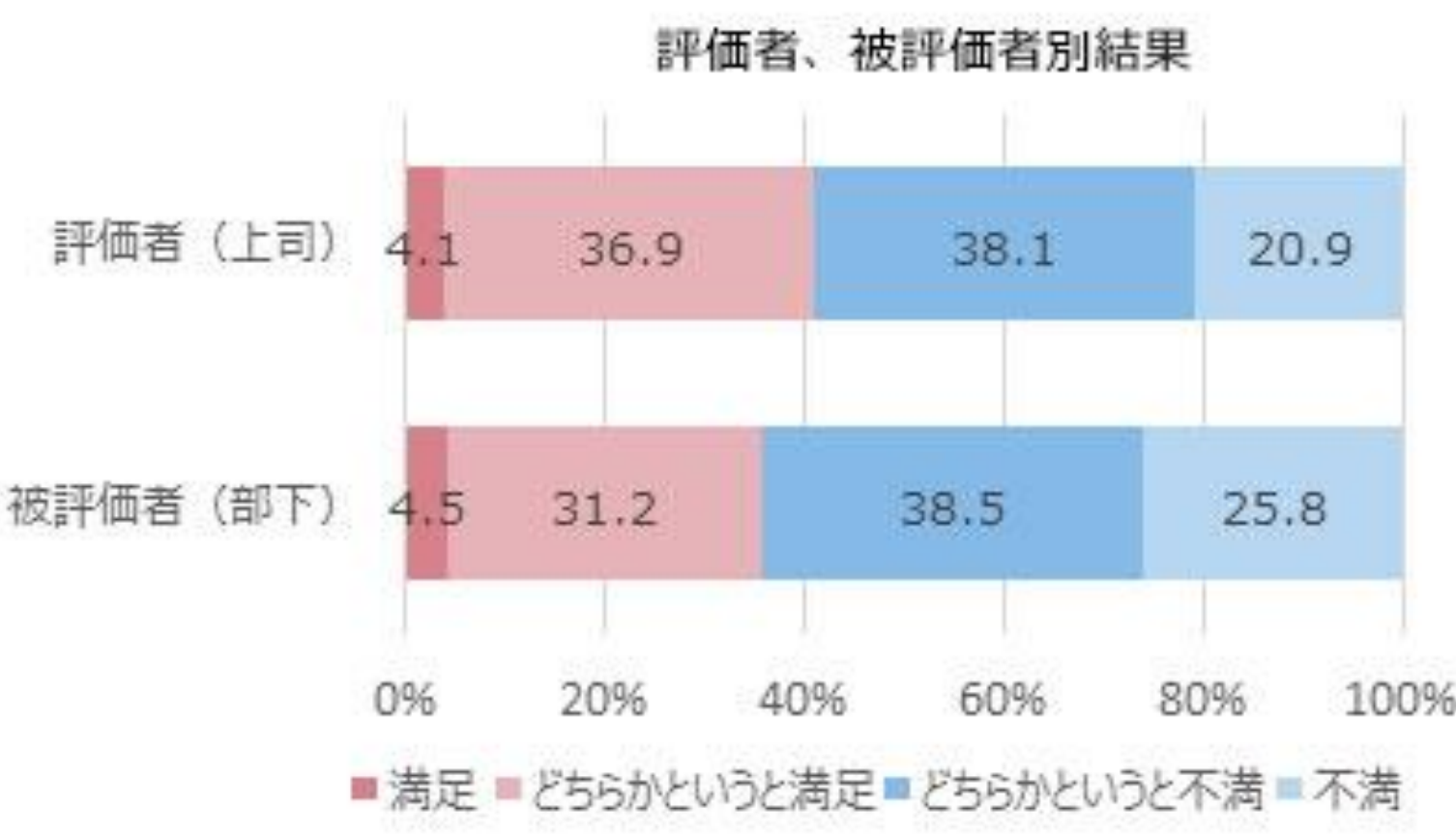


Blockchainのトランザクションを利用した 人事総合評価システムの研究

金沢工業大学 工学部 情報工学科
中沢研究室 櫻井 湧太

現状



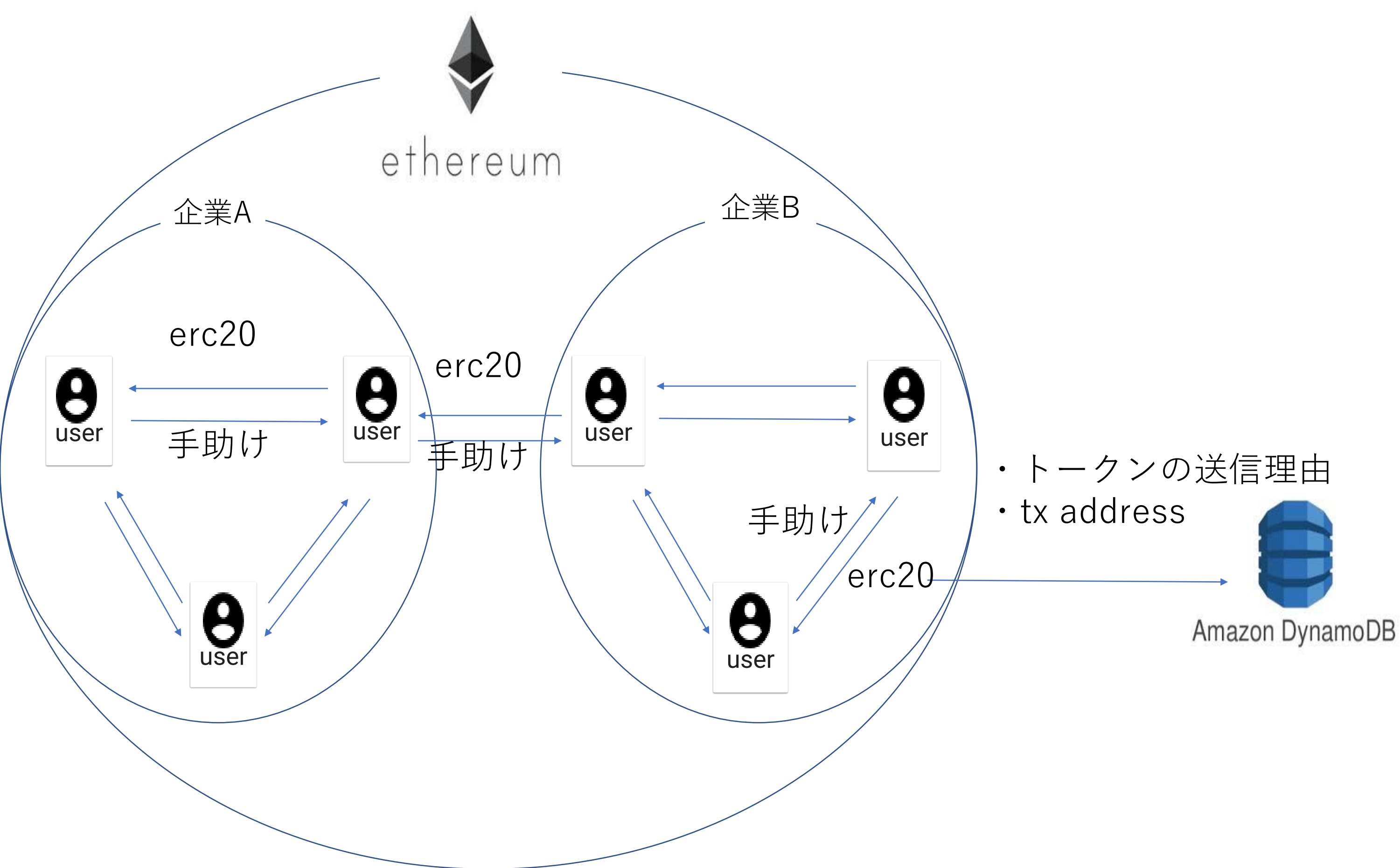
原因

- 自己評価より低い
- プロセスへの評価がない
- 不明瞭な評価基準

実際の評価よりも仕事で貢献しているのでは？
正しく評価できている？

システム概要

- 発行したトークンを利用する組織が購入して分配
 - 個人では何かしてもらったときにお礼としてトークンを送る
 - webアプリですべてのトークンの送信量と内容を確認可能
 - トークンのトランザクション(tx)はブロックチェーン上に記録
 - トランザクションはすべて公開する
- お礼としてどの程度の量のトークンを送るのか定まっていなかったため、過去のtxをみて参考にできる



実験方法

- 研究室内でこのwebアプリを利用してもらう。
- 誰かが自分に良いことをしてくれた時に相手にトークンを送る
- 一か月程度実験する

目的

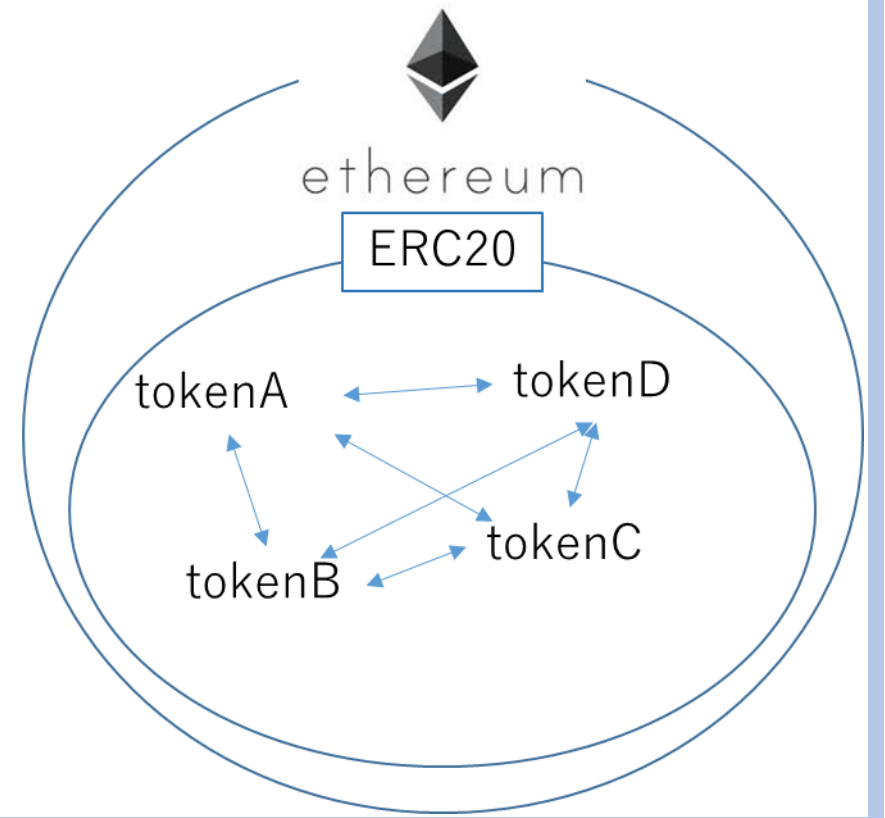
- 社外での仕事に対して社外の人からの評価をもらえる
- 今までよりも正当な評価を下せるようにする
- 数値化しにくいことに対する評価
- 小さな功績にも何かしらの対価を与えられるようにする

正しく評価されることで組織の活性化・成長

ERC20トークン (Ethereum Request for Comments: Token Standard #20)

Ethereum上で取引するトークンの規格の一つ。以前はトークンの発行者ごとに言語や仕組みが異なっていたが、それを標準化したことで発行が容易になった。

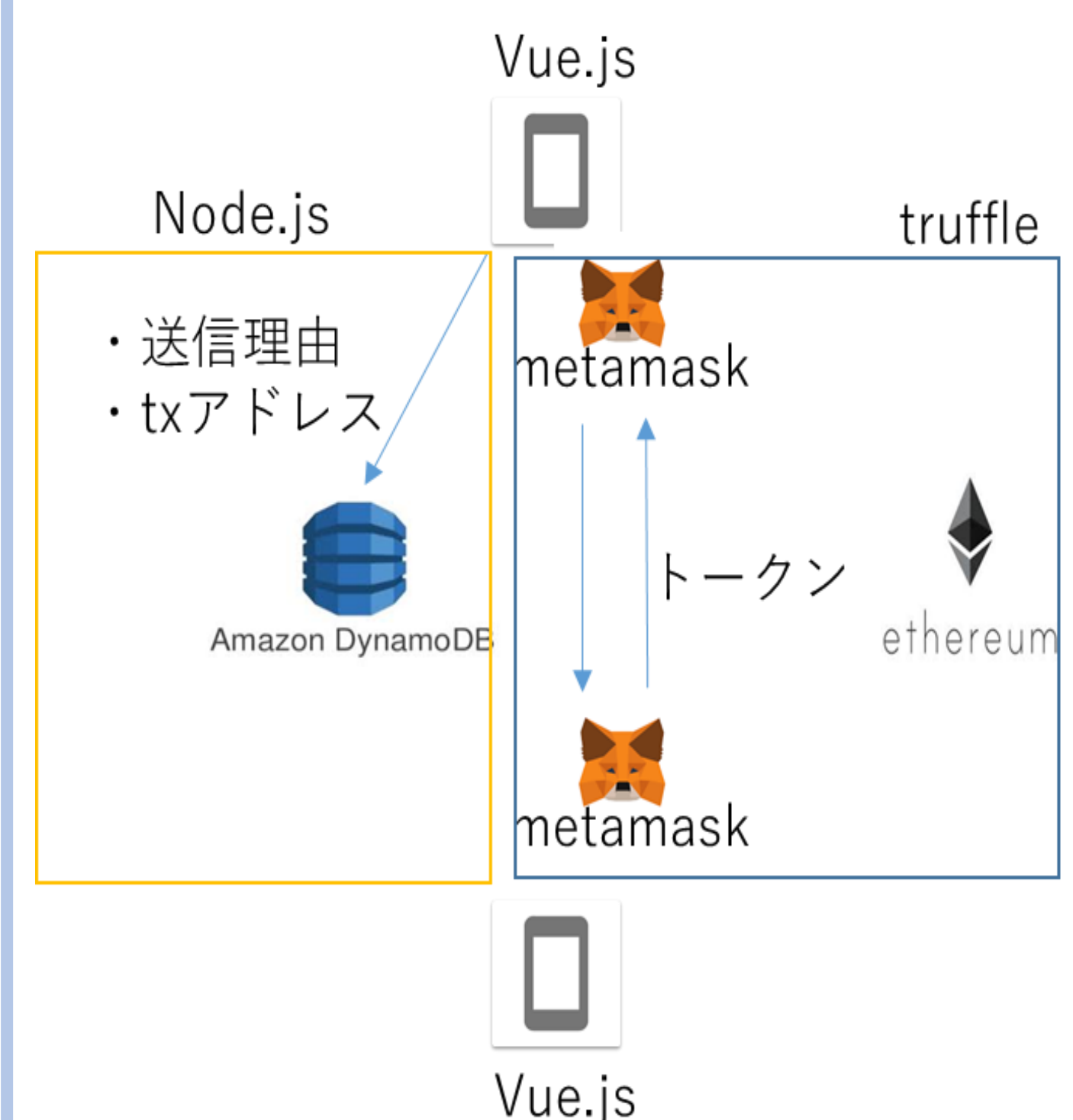
- どのトークンでもある程度の安全性が保障される
- 一つのウォレットで複数のトークンを送受信、管理できる



開発概要

- erc20トークンを作成する
- トークンを送受信するコントラクトを作成
- トークンを送受信をする際にコントラクトを実行するためのwebアプリを作成
- トークンのトランザクションや過去の自分の送受信履歴を確認可能なページ作成

- トークンのやり取りはMetamaskを使用して行う
- DynamoDBに送信内容を記録



評価方法

- 通常通りの成績の判定と、このシステムを利用した結果を加味した評価を比較する
- トークンを送る際のある程度の基準が定まったかをアンケートで調査する
- 自分が思う自身の貢献度とそれに見合った量のトークンを受け取っているかアンケート調査する